

## 「白岡市人口ビジョン（案）」に対する意見と回答

白岡市総合政策部企画政策課

意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>○46,000人の人口にする納得のいく論理がない。 同様に合計特殊出生率を2.07に高める論理の根拠がない。</p> <p>①住みやすさのための店舗不足と②土地利用についての思想の積み上げがない。わかりやすい2つだけ言いました。</p>	<p>→人口ビジョンは、過去の人口動向を基に人口推計を行い、活力ある地域社会を維持できる目指すべき将来人口の設定を行うものです。</p> <p>国立社会保障・人口問題研究所の推計では、現状の人口動向が続くと、本市では、平成72年に人口が36,824人まで減少すると推計されていることから、出生率や転出入者数をどのようにすれば人口減少を緩和することができるのかシミュレーションを行いました。</p> <p>その結果、平成52年までに、長期的に人口の増減が均衡した状態となる水準（人口置換水準*）まで市の合計特殊出生率を向上させるとともに、現状の転出入者数（人口の社会増）を維持することができれば、平成72年における人口は45,810人となる推計結果が得られました。</p> <p>そのため、人口ビジョンでは、平成72年における将来目標人口を46,000人に設定し、市民の妊娠・出産から子育てまでの一貫した支援や子育てと仕事の両立支援などに関する施策を積極的に行うことなどにより、合計特殊出生率を2.07まで高めることとしています。また、利便性の高い生活環境・都市基盤の整備や雇用を創出するための新たな土地利用の検討を行うことで転出の抑止と転入の増加を図り、社会増数を多くすることを目指しています。</p> <p>人口ビジョン等の策定に当たって実施した市民アンケート調査の結</p>

果では、飲食や娯楽施設（店舗）の誘致や市内における雇用の場の確保等が必要であると指摘されています。

このようなことから、市では、今後、白岡市人口ビジョン及び白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、積極的な産業振興と新たな土地利用の検討を進めることとしています。

\*人口置換水準：人口の増減が長期的に均衡した状態となる合計特殊出生率の水準のこと。国立社会保障人権問題研究所によると、日本における人口置換水準は、おおむね 2.07 であるとされている。